

# 論文作成法

## 論文作成の10のステップ

- |    |            |        |
|----|------------|--------|
| 0  | 大前提        | p. 1   |
| 1  | テーマの選択     | p. 1   |
| 2  | 事前調査       | p. 2   |
| 3  | 仮アウトライン作成  | p. 3   |
| 4  | 関連文献の調査    | p. 4   |
| 5  | 文献の入手      | p. 5   |
| 6  | 文献の読解と整理   | p. 5   |
| 7  | 最終アウトライン作成 | p. 6   |
| 8  | 執筆・校正      | p. 7-8 |
| 9  | 出典の表示      | p. 9   |
| 10 | 仕上げ        | p. 10  |

付録 論文作成に役立つ資料



©Hina Onda



©Hina Onda

## ステップ0 大前提



©Yu SetA

### 【論文とは】

- ・問い、と、答え、その根拠、でできている。

### 【基本姿勢】

- ・先行研究を尊重し、それを乗り越える姿勢で臨む。
- ・好き勝手に持論を展開するだけでは、論文とはいえない。

### 【内容】

- ・読み手を意識し、説得（納得させる）するような論理的な文章が求められる。
- ・自分の主張を裏付ける、根拠となる資料（他人の意見）が必要になる。（客観的に述べる）  
➔ 図書館を使い、テーマの先行研究などの文献を収集し、自説に確かな根拠を与えよう。

### 【どういう論文にするか】

- ・仮説（あるテーマに関する自説・主張）を立て、解決へ導く。

【例】 テーマ「育児支援」

➔ 「育児支援のカギは、子育てする親への心理的支援体制の充実である。」

### 【ポイント】

- ・先行研究の不備・限界を突く、あるいは、発展的に展開させる。

## ステップ1 テーマの選択

<テーマを絞り込む>

### 使うもの

- ・『文芸春秋オピニオン』『現代日本経済の論点』など、論点・争点をまとめた資料
- ・新聞、『新聞ダイジェスト』など、最近のニュースを参考に ➔ 新聞のデータベースも有用！
- ・『現代用語の基礎知識』『経済がわかる論点50』『日経キーワード』など、最近の旬なキーワードの辞典・事典

### ポイント!

- ・大きなテーマを選ばない。（時間が限られているので焦点を絞る）
- ・マイナーすぎるテーマを選ばない。（先行研究・関連資料が少ない、など自説の根拠・補強材料を欠くことに）
- ・ありふれたテーマでも、その“切り口”で勝負することも一手。

◆絞り込み過程：興味のある分野・テーマ ➔ 絞り込み ➔ 問題提起 ➔ 仮説

【例】少子化問題 ➔ 子育て支援 ➔ 物理的支援は存在するが、心理的支援が足りないのでは？

➔ 育児支援の最善策として、子育てする親への心理的支援体制を充実させるべき！

以下、テーマを、『子育て支援の課題 -母親への心理的支援-』として、進めていきます。

## ステップ2 事前調査

<テーマの全体像をつかむ、テーマ（ことば）の意味を知る>

使うもの

【事典・辞書】 紙媒体 → ○○（研究）事典、百科事典など  
電子媒体 → JapanKnowledge Lib（図書館契約データベース）

【入門書】あるテーマについての初学者向けの図書、テーマの歴史・現状・課題などを収録  
➔ テーマの全体像をつかむ、ここから深掘りしていく、有用な参考文献を記載した入門書も多い

【例】



これからの子ども・子育て支援を考える / 柏女霊峰著  
369.4-Ka77kb 図書館2階 和図書

目次

序章 共生社会創出のための子ども家庭福祉サービスを考える  
第1章 子ども・子育て支援制度の概要と意義  
第2章 児童福祉法と児童憲章から見つめなおす保育の未来  
第3章 待機児童問題の隠れた課題  
第4章 法令からみた乳幼児期の「保育」と「教育」  
第5章 地域子育て支援サービスの可能性と限界  
第6章 放課後児童クラブの過去・現在・未来  
第7章 共生社会をめざした障害児支援の在り方  
第8章 あたりまえの生活をめざした社会的養護  
第9章 次世代の「社会的養育」の在り方を企画する  
終章 近未来の子ども・子育て支援を考える

**ポイント!** 類語、関連語に注目し、キーワード（検索ワード）を集める。検索ワードが違えば、ヒットする文献も変わる。

➔ Weblio 類語辞典（ウェブサイト）、連想類語辞典（ウェブサイト）がおすすめ。

キーワードは、Brainstorming にも使える！

【例】

子育て 子育て 子ども 児童 保育 教育 福祉 育児 支援 制度 制作 環境 行政  
心理 意識 ストレス 不安 etc.

## ステップ3 仮アウトライン作成

<大雑把に目次を考える>

- 仮アウトライン：構成、あらすじ（目次のようなもの）
- ◆この段階では、文献を読み込んでいないので、箇条書き程度でよい。
- ◆論文全体のストーリーを考える。

【例】

- ・問題提起・・・・・・・・なぜそのテーマを採り上げるのか、また、何が問題なのか
- ・先行研究・・・・・・・・これまでに研究されてきたこと
- ・主張・・・・・・・・自説、見解、対応策提案（政策提案など）
- ・テーマの歴史・背景・現状（実態）
- ・テーマの課題（問題点）、論点、争点
- ・テーマの事例（先進事例、取り組みの例、実践など）
- ◆日本国内のテーマを書くのであれば、**外国との比較**、そこから得られる示唆



©Yu Seta

### ポイント!

- ・どんなテーマにも、「れげそせほ」が書く材料に！（『法学部ゼミガイドブック』西南法学基礎教育研究会 p.117）
  - れ 歴史 （背景）
  - げ 現状 （実態）
  - そ 争点 （長所、短所、利点、欠点、是非など、議論（論点）となっていること）
  - せ 政策
  - ほ 法令 （制度）

### さらにポイント!

- ◆どのように並べたらよいか順序を考える。主張 → 理由 → 根拠：論理展開の基本！
- ◆同時に、どのような資料が必要かも考える。



©Yu Seta

## ステップ4 関連文献の調査

<必要な資料を探す>

- ステップ2で集めたキーワード（検索ワード）を使って、必要な資料を探す。
- 図書、論文・雑誌記事、新聞、インターネット情報、と万遍なく探す。

### ポイント!

- ・検索時、発見した文献のリストを作成しておく。
- ・書誌事項（タイトル、著者名、発行年、URLなど）をWordなどに、正確にコピーする。  
→ 参考文献リストの基になる。これを使って図書館で資料を入手するとよい。

### さらにポイント!

- ・自分の主張をサポートする文献とともに、自分の主張とは異なる見解の文献も集め、論文の材料にするとよい。

## 資料相談できる場所がある!

### 【レファレンスカウンター】

- ・文献に関する質問・相談、データベースの使い方、などは、図書館1・2階のレファレンスカウンターで相談。

### 【オンラインレファレンス】

- ・文献に関する質問・相談をオンラインで依頼できる。

(OPAC ➡ My Library ➡ オンラインレファレンス ➡ 新規レファレンス依頼 ➡ 実行)

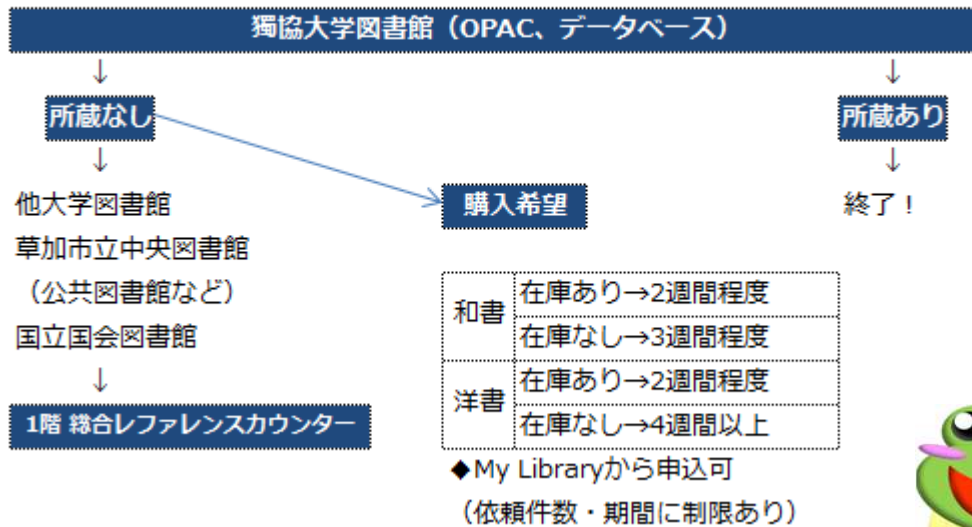


©Yu Seta

## ステップ5 文献の入手

<文献リストの資料を入手する>

### 【文献入手の流れ】



©Yu Seta

### 【1階 総合レファレンスカウンター】

他大学図書館の資料を利用

|     |    |            |                                 |
|-----|----|------------|---------------------------------|
| 取寄せ | 有料 | 文献複写 (コピー) | 国内→1週間程度、海外→1ヶ月程度かかる            |
|     |    | 図書借受       | 獨協大学図書館から外に持ち出せない (約3週間ほどの閲覧期間) |
| 訪館  | 無料 | 紹介状        | 相手館の都合がある、交通費                   |
|     |    | SALA共通閲覧証  | 埼玉県内の大学図書館に、共通閲覧証を借りて行き、利用する    |

※ いずれも、余裕をもって申し込むこと。

## ステップ6 文献の読解と整理

<入手した資料を読んで、整理 (仕分け等) する>

### ◆読解

- ・文献は、**批判的に**読む。 → 内容に問題点 (課題) があるか? 主張・根拠は正しいか? (常識を疑う姿勢)
- ・仮アウトラインに肉付けしながら読み込む (メモを取りながら)。
- ・学術的に信頼性に欠ける文献は使わない。

### ポイント!

- ・それぞれの文献の参考文献リストを見よ!  
先行研究者、重要な文献が見つかる → 著者名で検索! 芋づる式に、お宝資料が見つかる?
- ・主張を裏付ける文献 (pros)、自分の見解と反対の主張をする文献 (cons)、両方とも採り上げる。

## ステップ7 最終アウトライン作成

<仮アウトラインの見直しをする>

- 仮アウトラインを、修正、追加、削除をする。➡ ステップ8も参考に！

【例】

はじめに

テーマ選択の動機（姉夫婦のケース）、育児の現状

第1章 核家族化の背景と課題

家族環境の変化：核家族

女性の社会進出と共働き

保育行政とその実態

第2章 育児に対する心理的影響

不安・ストレス

父性の不在

地域単位での育児支援

第3章 フランスの男女共同の子育て

フランスの少子化抑止政策：家族政策

母性の保護

男女平等：父親の子育て

おわりに

心理的な育児サポートの必要性



©Yu Seta

## ステップ8 執筆・校正

<書きやすいところから書く>

### ◆執筆

**序論** (はじめに)

問題の提起 (育児支援において、心理的支援が足りない、姉夫婦のケースを紹介)

問題を提起する目的 (心理的支援が育児・少子化にどう影響するのかを明らかにする)

解決策を提示するという主張や論証方法 など

★印象的な引用を持ってくるのも一手。読み手を引き込む。

**本論** (1章、2章、3章…)

最終アウトラインに沿って、各章(目次)を文章化する。

仮説に対する論拠(根拠)を示しながら、結論を導く。➡ 反対説を入れて展開しても可。

★データがあれば、データを提示、解釈、考察等すると、わかりやすい。画像や図表なども選択肢。

【例】ステップ7の最終アウトラインに肉付け

第1章 核家族化の背景と課題 → 歴史の部分、統計とともに

出生率○%の衝撃、女性の社会進出と共働き世帯の増加、家族構成の変化、政策など

第2章 育児と母親の心理

母親の不安・ストレス、データ(実態調査など)、インタビューなどからニーズを得る

第3章 他国の(先進)事例

他国の子育て政策の紹介、自国との比較、示唆

**結論** (おわりに)

自分が集めた資料やデータから言えること(主張、自説)

今後の課題・展望 など

### ◆ポイント

- ・書きやすいところから書く
- ・一文一義(一つの文には一つの意味) ➡ 一文に、多くのことを盛り込まない!
- ・一段落に、一つのテーマ(事柄)
- ・どっちつかずの主張は避ける ➡ ~かもしれない、~は人による、など



©Yu Seta

### ◆文章

読みやすい論文(全体像)

- ・問題提起(問) ○○だろうか? → 途中(展開: 根拠を示しながら) → アンサー(答え、主張)
- ・主張 ○○である → " → サマリー(要約、まとめ)



## ◆チェック

- ・他人に読んでもらう、自分で時間を置いて印刷して読む、など

## ◆引用

- 引用・・・自分の文中に他人の文献の一部を原文のまま採り上げる（書く）。
  - × 他人の文献中の引用文を、そのまま自分の文中で引用するのは、正確性に欠ける。（孫引き）
  - オリジナルの資料（1次資料）にあたること。
- 参考文献・・・論文全体を通して利用した文献。

### 【引用のルール】

- ・一部分の引用は、著作権法で認められている。 研究目的 ➡ 著作権者の承諾不要
- ・引用部分を明示する ➡ 「 」かぎかっこ、を使うなど

### 引用例 1 その都度、著者の姓と文献の発行年を入れる。

文中 増山均は、親の成熟と育ちあいについて「〇〇〇」（増山, 2009, p. 〇）と述べている。

参考文献リスト 増山均『子育て支援のフィロソフィア：家庭を地域にひらく子育て・親育て』（自治体研究社、2009）

### 引用例 2 引用出現順に番号を打つ。通し番号を打つ。

文中 親の成熟と育ちあいについて、「〇〇〇」<sup>(1)</sup>という見解があり、……………

引用文献リスト (1) 増山均『子育て支援のフィロソフィア：家庭を地域にひらく子育て・親育て』（自治体研究社、2009）〇頁

## 引用のポイント

- ・インパクトあるものをポイント使いすることが効果的。
- ・多用（長すぎる）と読み手を飽きさせるし、スペース（字数）稼ぎか？と。

## ◆補足注：用語解説、補足的な説明を入れる ➡ Microsoft Word の「脚注」を使う。

手順 カースルを説明したい語句の直後に合わせる➡リボン（タブ）の参考資料をクリック➡AB<sup>1</sup>脚注の挿入をクリック

## ◆校正：文章をチェックする、誤字脱字などを修正すること

- ・論理展開に一貫性があるか
- ・章や節のタイトル（目次）の名称は適当か（ズレてないか）
- ・書くはずの情報が抜けていないか、不要な情報を書いているか
- ・同じ文章（表現）を繰り返していないか
- ・一文が長過ぎてわかりにくくなっていないか
- ・引用と自分の文章が区別されているか
- ・誤字（誤変換）、脱字はないか

## ステップ9 出典の表示

<引用、参考にした文献のリストを作成する>

- 以下は、図書館参考係情報検索班推奨方式。
- 日本語の文献は、**著者名のアイウエオ順**。英語の文献は、**著者名のアルファベット順**。

例

### 【図書】

**著者名『書名』(出版者、出版年)**

柏女霊峰『これからの子ども・子育て支援を考える：共生社会の創出をめざして』(ミネルヴァ書房、2017)

### 【論文】

**著者名「論文名」『雑誌名』巻号 ページ(発行年)**

波田野茂幸「子育て支援における心理臨床の役割」『教育と医学』66巻3号232-239ページ(2018)

### 【新聞記事】

**著者名「記事タイトル」『新聞紙名』(年月日、朝夕刊、面名、ページ)**

大矢雅弘「天草市、子育てケア大盛り NPOや医療機関が連携」『朝日新聞』  
(2019年5月16日、朝刊、熊本全県・1地方、27ページ)

### 【インターネット情報】

**著者名「ページ名」URL(参照年月日)**

内閣府「子ども・子育て本部」<https://www8.cao.go.jp/shoushi/index.html> (2020年5月21日)

**ポイント!** この引用・参考文献リストから見る先生も多い。それほど重要。採点にも大きく関わる。文献調査を念入りに!

## ステップ10 仕上げ

<指定された形式にする>

- 字数、表紙の有無、用紙サイズ、綴じ方等のチェック



©Yu Seta

## 論文作成に役立つ資料（獨協大学図書館所蔵）

## 【書き方・作成法】

| 書名                                           | 著者名           | 出版年  | 請求記号           | 配架場所    |
|----------------------------------------------|---------------|------|----------------|---------|
| よくわかる卒論の書き方                                  | 白井利明<br>高橋一郎  | 2013 | 816.5-Sh81y2   | 3階 和洋図書 |
| これからレポート・卒論を書く若者のために                         | 酒井聡樹          | 2017 | 816.5-Sa291kb2 | 3階 和洋図書 |
| 「文化系」学生のレポート・卒論術                             | 渡辺潤<br>宮入恭平   | 2013 | 816.5-W461b    | 3階 和洋図書 |
| 大学生のための論文・レポートの論理的な書き方                       | 渡邊淳子著         | 2015 | 816.5-W463d    | 3階 和洋図書 |
| 社会科学系のための「優秀論文」作成術：プロの学術論文から卒論まで             | 川崎剛           | 2010 | 307-Ka97s      | 2階 和図書  |
| 学術論文の作法：(付)リサーチペーパー・小論文・答案の書き方（第2版）          | 近江幸治          | 2016 | 816.5-O62g2    | 3階 和洋図書 |
| コピペと言われないレポートの書き方教室：3つのステップ：コピペから正しい引用へ      | 山口裕之          | 2013 | 816.5-Y24c     | 3階 和洋図書 |
| レポート・論文をさらによくする「書き直し」ガイド：大学生・大学院生のための自己点検法29 | 佐渡島紗織<br>[ほか] | 2015 | 816.5-Sa13r    | 3階 和洋図書 |
| レポート・卒論のテーマの決め方                              | 三井宏隆          | 2004 | 816.5-Mi64r    | 3階 和洋図書 |

## 【文章作成法、思考法】

|                                   |       |      |              |         |
|-----------------------------------|-------|------|--------------|---------|
| 文章ベタな人のための論文・レポートの授業              | 古郡廷治  | 2014 | 816.5-F92b   | 3階 和洋図書 |
| 思考を鍛えるレポート・論文作成法                  | 井下千以子 | 2019 | 816.5-I561s3 | 3階 和洋図書 |
| 「うまい!」と言わせる文章の裏ワザ                 | 石黒圭   | 2014 | 816-I73u     | 3階 和洋図書 |
| 日本語論証文の「書く」力を向上させるためのクリティカル・シンキング | 平柳行雄  | 2010 | 836-H69n     | 3階 和洋図書 |

## 【引用・参考文献リストの書き方】

|                          |               |      |             |         |
|--------------------------|---------------|------|-------------|---------|
| レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方 | 藤田節子          | 2009 | 816.5-F67r  | 3階 和洋図書 |
| 引用する極意引用される極意            | 林紘一郎<br>名和小太郎 | 2009 | 816.5-H481i | 3階 和洋図書 |

## 【PC・Wordの使い方】

|                                                |      |      |              |           |
|------------------------------------------------|------|------|--------------|-----------|
| 卒論執筆のためのWord活用術：美しく仕上げる最短コース                   | 田中幸夫 | 2012 | 408-B59-1791 | 2階 和図書    |
| 論文・レポート作成に使うWord 2013活用法：スタイル活用テクニックと数式ツールの使い方 | 相澤裕介 | 2013 | 336.58-W.aj  | 2階 PC関連資料 |

◆上記の資料は、あくまで一例です。周辺の資料を見て、自分に合う資料を探し出してください。